



平成 26 年 3 月 3 日

各 位

会 社 名 ザ・レジェンド・ホテルズ&トラスト株式会社
代 表 者 名 代表取締役 嶋田 秀子
(銘 柄 コー ド) 2 1 8 9
問 合 先 取締役 告野 充
(電 話) 0 3 - 5 3 6 5 - 3 2 0 1

平成 25 年 12 月 期 決算短信(非連結)の一部訂正について

平成26年2月28日付けで発表いたしました「平成25年12月期 決算短信（平成25年1月1日～平成25年12月31日）」の記載内容について一部訂正いたします。

記

1. 訂正の理由

第8期（平成 25 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日）決算短信の作成過程において、一部訂正事項が判明したものであります。

2. 訂正内容

訂正箇所には、下線を付しております。

平成 25 年 12 月 期 決算短信（非連結）

<訂正前>

2. 平成 25 年 12 月 期の業績予想（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）

当社の主要事業は「ホテル開発・運営事業」であり、ホテル開発・運営をセットで行う「直営型ホテル」と、既存ホテル等の運営のみの受託を行う「運営型ホテル」の両方を並行して行っていく方針であります。

現時点においては、「直営型ホテル」の第1号として千葉県のパイオニアを予定しておりますが、建設及び営業はいたしておりません。また、着工予定は未定となっております。

一方で、「運営型ホテル」の第1号として平成 24 年 4 月 2 日付にて「タラサ志摩ホテル」（三重県）の運営をタラサ志摩スパアンドリゾート株式会社から受託し、「ザ・レジェンドホテル タラサ志摩」として運営を行ってまいりましたが、ホテル運営方針の相違により平成 24 年 9 月 21 日をもって運営受託を終了いたしました。

当社としましては前事業年度におけるホテル運営受託に伴うリニューアルオープンの実績が、第2号以降の運営型ホテルの受託に生きるものと確信しております。

前事業年度において企業会計ルールに基づいて減損処理を行ったことと「直営型ホテル」(千葉県)の事業継続性は別個の問題であり、今後も、「直営型ホテル」(千葉県)の会員権販売を継続して行うとともに、第2号「運営型ホテル」の運営を受注し運営実績を上げホテル運営の基盤作りと信用力向上を図ることが、「直営型ホテル」の会員権販売の加速に繋がると考えております。

これらのホテルが軌道に乗り、継続的な事業として確立するまでは不確実性が存在するため、当社では業績予想の開示は行っておりません。

<訂正後>

2. 平成26年12月期の業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

当社は、第1号「直営型ホテル」(千葉県)の建設に向けて事業を推進してまいりましたが、物件が千葉県の海沿いということで東日本大震災による地震と放射能への不安感により様子見に入られた方が多く、また当社のホテル運営経験が少ないことを危惧されるお客様もおられた事等から当初計画よりも遅延しており、現在のところ着工予定は未定となっております。

また、「運営型ホテル」の第1号として「ザ・レジェンドホテル タラサ志摩」(三重県)をリニューアルオープンさせましたが、ホテル運営方針の相違により業務委託契約は終了いたしました。

これに伴い、新規に「運営型ホテル」第2号の運営受託に向けて営業活動を実施してまいりましたが現在のところ受託には至っておりません。

一方で、当社の広告宣伝及びイメージアップの一環として講演活動、「関わる全ての方を幸せにすること、そんな存在になること」をメインテーマとした研究機関である「レジェンド・アカデミア」を開設し、各種講座を開催してまいりました。

上記の通り、当社の主要3事業(ホテル、トラスト、コンサルティングサービス)のうち、現在のところ「ホテル事業」「トラスト(不動産)事業」の売上目途は立っておらず、各種セミナー講座の開催等により「コンサルティングサービス事業」の売上のみが立っている状況となっております。

加えて、当年度はホテル関係の進捗が現在のところございませんでした。

このような状況を踏まえ、当社と致しましては企業存続をかけてダイナミックな決断をしてまいりたいと考えております。

一旦経営の軸足を「ホテル事業」から、新規事業である「野菜の卸売及び小売業等」、及び「不動産事業」の拡大強化に移してまいります。

そのための資金調達を行い、財務基盤を確立させるとともに、新規事業及び不動産事業拡大強化への資金・人材等の投資により抜本的な業績改善を図り、経営基盤を安定化させてまいりたいと考えております。その上で、再度ホテル事業を推し進めていきたいと考えております。

これらの事業が軌道に乗り、継続的な事業として確立するまでは不確実性が存在するため、当社では業績予想の開示は行っておりません。

第8期 決算速報（平成25年1月1日から平成25年12月31日まで）

<訂正前>

Ⅲ 第8期通期の売上高及び利益の予測について

当社の主要事業は「ホテル開発・運営事業」であり、ホテル開発・運営をセットで行う「直営型ホテル」と、既存ホテル等の運営のみの受託を行う「運営型ホテル」の両方を並行して行っていく方針であります。

現時点においては、「直営型ホテル」の第1号として千葉県の子物件を予定しておりますが、建設及び営業はいたしておりません。また、着工予定は未定となっております。

一方で、「運営型ホテル」の第1号として平成24年4月2日付にて「タラサ志摩ホテル」（三重県）の運営をタラサ志摩スパアンドリゾート株式会社から受託し、「ザ・レジェンドホテル タラサ志摩」として運営を行ってまいりましたが、ホテル運営方針の相違により平成24年9月21日をもって運営受託を終了いたしました。

当社としましては前事業年度におけるホテル運営受託に伴うリニューアルオープンの実績が、第2号以降の運営型ホテルの受託に生きるものと確信しております。

前事業年度において企業会計ルールに基づいて減損処理を行ったことと「直営型ホテル」（千葉県）の事業継続性は別個の問題であり、今後も、「直営型ホテル」（千葉県）の会員権販売を継続して行うとともに、第2号「運営型ホテル」の運営を受注し運営実績を上げホテル運営の基盤作りと信用力向上を図ることが、「直営型ホテル」の会員権販売の加速に繋がると考えております。

これらのホテルが軌道に乗り、継続的な事業として確立するまでは不確実性が存在するため、当社では業績予想の開示は行っておりません。

<訂正後>

Ⅲ 第9期通期の売上高及び利益の予測について

当社は、第1号「直営型ホテル」（千葉県）の建設に向けて事業を推進してまいりましたが、物件が千葉県の海沿いということで東日本大震災による地震と放射能への不安感により様子見に入られた方が多く、また当社のホテル運営経験が少ないことを危惧されるお客様もおられた事等から当初計画よりも遅延しており、現在のところ着工予定は未定となっております。

また、「運営型ホテル」の第1号として「ザ・レジェンドホテル タラサ志摩」（三重県）をリニューアルオープンさせましたが、ホテル運営方針の相違により業務委託契約は終了いたしました。

これに伴い、新規に「運営型ホテル」第2号の運営受託に向けて営業活動を実施してまいりましたが現在のところ受託には至っておりません。

一方で、当社の広告宣伝及びイメージアップの一環として講演活動、「関わる全ての方を幸せにすること、そんな存在になること」をメインテーマとした研究機関である「レジェンド・アカデミア」を開設し、各種講座を開催してまいりました。

上記の通り、当社の主要3事業（ホテル、トラスト、コンサルティングサービス）のうち、現在のところ「ホテル事業」「トラスト（不動産）事業」の売上目途は立っておらず、各種セミナー講座の開催等により「コンサルティングサービス事業」の売上のみが立っている状況となっております。

加えて、当年度はホテル関係の進捗が現在のところございませんでした。

このような状況を踏まえ、当社と致しましては企業存続をかけてダイナミックな決断をまいりたいと考えております。

一旦経営の軸足を「ホテル事業」から、新規事業である「野菜の卸売及び小売業等」、及び「不動産事業」の拡大強化に移してまいります。

そのための資金調達を行い、財務基盤を確立させるとともに、新規事業及び不動産事業拡大強化への資金・人材等の投資により抜本的な業績改善を図り、経営基盤を安定化させまいりたいと考えております。その上で、再度ホテル事業を推し進めていきたいと考えております。

これらの事業が軌道に乗り、継続的な事業として確立するまでは不確実性が存在するため、当社では業績予想の開示は行っておりません。

以上